

株式会社暁電工



**太陽光発電とバッテリー駆動による
独立蓄電方式を採用**

「防災用街角ラジオ ミーアキヤツト」は、太陽光発電とバッテリー駆動による独立蓄電方式を採用しているため、災害で停電になつても作動。災害発生時から被災状況の確認、避難するための正確な情報、災害地域のライフラインなどに関する情報を拡声放送し続けることができる。

東日本大震災に象徴されるように、災害發

生直後に起くる停電では最新の情報を得ることが難しくなる。テレビや電話は使えなくなつるし、防災行政無線においても多くは内蔵しているバッテリーで電源を賄うために、情報を流し続けることは困難……と、災害大国と呼ばれる日本で暮らす我々は、いつ来るかわからない、もしも……のことを考える度に、大きな不安を抱えて生活しているのが現状だ。

そこで「防災用街角ラジオ ミーアキヤツト」は、緊急情報を迅速かつ確実に伝えることで、素早い避難行動から減災効果が期待でき、屋外にいる多くの人々の安全・安心を支えることを目的に開発された。

F Mラジオ放送や防災行政無線の電波が受信できる場所であれば、緊急放送を受信して拡声放送することができるのを始め、「電源工事不要・電気代0円」「制御箱に設置されたハンドマイクはローカルエリアでの拡声放送が可能（災害時に危険を呼びかけるだけではなく、地域行事などにも活用できる）」などの特長を持つている。

**「F M放送受信型」と「戸別受信機・
防災ラジオ対応型」の2タイプ**

「防災用街角ラジオ ミーアキヤツト」のラインナップは、「F M放送受信型」と「戸別



『災害発生時から必要情報を拡声放送し続ける 防災用街角ラジオ ミーアキヤツト』

受信機・防災ラジオ対応型の2タイプに分かれ、設置する場所により大きさの異なる「ミニ」「スタンダード」「60」の3タイプ。さらに、新製品の「ミーアキヤツトハンディ」がある。

「F M放送受信型」は、通常待機時はF Mラジオ放送をミュートで受信し、F M放送局の緊急地震速報の報知音（チャイム音）や緊急警報放送の出力信号（ピロピロ音）を検出すると自動的にミュート状態を解除してF Mラジオ放送を拡声放送。

「戸別受信機・防災ラジオ対応型」は、戸別受信機や防災ラジオをミーアキヤツトの制御箱内に収納し、市町村役場に設置される親局から災害情報や行政情報などを発信すると制御箱内に収納された戸別受信機や防災ラジオからの音声出力信号を検出し、自動的に拡声放送するなどが特長だ。

既に複数の自治体で採用・発注が行われるなど、多方面から注目を集めている。